



陸別町ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地で記録的な高温や大雨、大規模な干ばつ等の異常気象が増加しており、国内においても、大型台風や局地的な集中豪雨などによる甚大な被害が発生するなど、気候変動による影響は私たちの身近な生活にまで及んできています。

2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要」と示されました。

このような中、国においても「2050年までに脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言され、さらに北海道においても、地域資源を最大限活用しながら、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進める「ゼロカーボン北海道」の実現を目指すこととされました。

こうした国内外の動向を踏まえ、陸別町としても北海道や近隣自治体と連携・協力しながら、省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの利活用、森林の適切な管理による二酸化炭素吸収源対策など、積極的に脱炭素化に取り組んでいく必要があります。

将来にわたり、美しく豊かな自然環境の保全を実現し、「人と自然が響き合う」陸別町を未来の世代に引き継いでいくため、町民や地域、事業者の皆さまと一体となって、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指すことをここに宣言します。

2023年（令和5年）3月7日

陸別町長 **野尻秀隆**



陸別町は 持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

